

Volume 082

男たちよ 目覚めなさい

これぞ紳士の
処世術ですわ

Theme

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

きげんよう。先日、
某クラブで行われた
パーティーで、夫が
日本人、妻がイギリス人とい
う40代の美しいご夫婦に出会
いました。何の不足もない完
璧なカップルに見えたのです
が、夫君が席をはずしている

海外ではスマートにレディ
ファーストな行動をとる男性
であっても、日本に来ると、
レディラストな男に変貌する。
このような嘆きを聞くのは、
初めてのことではありません。
なぜそんなことになってしま

間に、奥様のほうが、こんな
不満を口にしましたのです。
「彼はイギリスにいる時には
クルマのドアも開けてくれる
し、ナプキンもさっとひざに
かけてくれる。ごく当たり前
にレディファーストをしてく
れるのだけど、日本に来ると、
人が変わったようにピタッと
やめる。彼の友人たちもそう。
日本ではレディファーストが
恥ずかしいことになっている
のかしら」

1 第2章より、歴史的にも貴重なハイジュエリーを無骨な美しさ
溢れる展示方法にて、2 序章「時の間」。柔らかな光を演出する
「羅(ら)」の結法が採用されたファブリックを使用。

3 時を超えたジュエリーの対比展示に注目です。

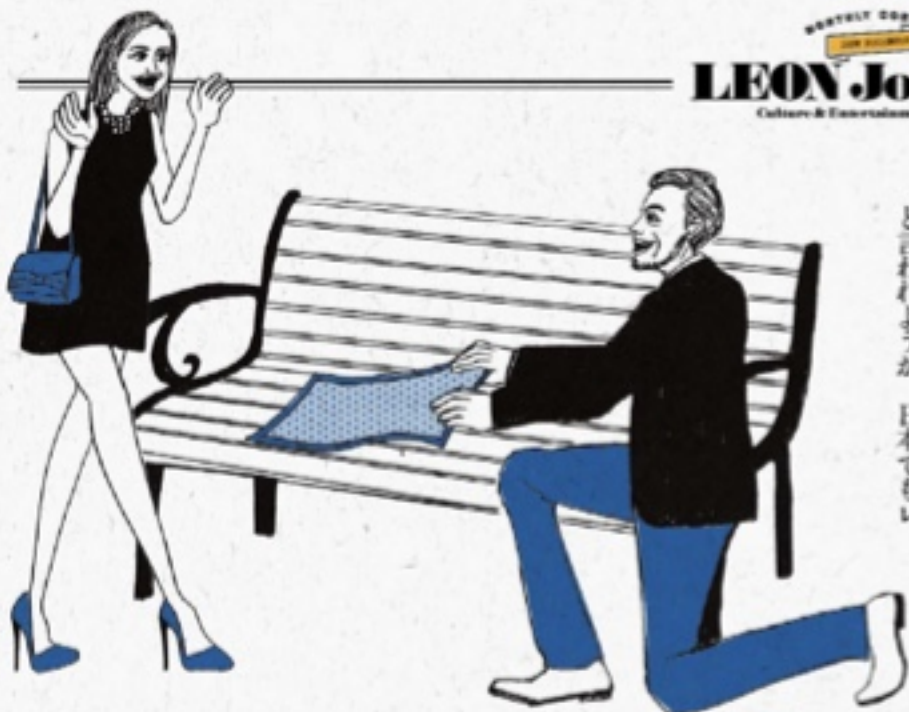
「カルティエ、時の結晶」 会期：2019年12月16日(月)まで
火曜休館 開館時間：10:00～18:00(毎週金・土曜日は20:00まで、
入場は閉館の30分前まで。) 会場：国立新美術館 企画展示室2E
東京都港区六本木7-22-2 <https://Cartier2019.exhn.jp>



MONTHLY CONTENTS
ON BROWSE

LEON Journal

Culture & Entertainment Culture



うのでしよう？

海外駐在を経験したある方はこのように言い訳しました。「海外にいとレディファーストできない男は社交の輪から外され、仕事の評価まで落とされる。逆に日本では、女性をスマートにエスコートしたりすると、同僚から叩かれるんです。おまえだけ格好つけられたら俺たちがやりにくい、って。日本では男社会で上手くやっていくために、レディファーストをあえてやらないのですよ」。

なるほど。周囲の環境と折り合っていくための処世術ということですね。

ではその処世術をさらに一歩、深めてみませんか。キザと言われようが、日本でもレ

ディファーストな振る舞いを徹底するのです。というのも、これは観察力と機動力を高める訓練になるから。状況を瞬時に察知して行動の先手をとる力が磨かれます。そもそも、女性を守るといふ名目のもと、行く手に敵の存在を察知し、先に女性を行かせて敵の攻撃から自分の身を守った非情な騎士もいたくらいです（たかから頭のいい女性はエスコートされるフリしてその先を読むのです）。

とことんレディファーストをする変わった男としてキララを確立してしまえば、周囲はかえって呆れて認めます。結果、観察力と機動力が磨かれ、キヤラも立つ最高の処世術に。内実はどうあれ男女の様式美の喜びが広がるレディファーストに、「目覚めなさい」。

Profile

グローバル化が進む社交界事情にも通じる。密かな趣味は人間観察とコスプレ。好きな飲み物はモンラッシュ。日本ではほとんど知られていない、ある小国の女王とのウワサも！



カトリーヌ10世
Catherine X